

第3回初級者セミナーのご案内

2026年2月3日

NTTアドバンステクノロジー株式会社

第3回初級者セミナー概要

初めて実業務のシナリオを作成するWinActor初級者ユーザーに必要な知識をウェビナー形式でご案内します。


- 日時 : 2026年2月17日(火) 14:00-15:00 (スペシャルQ&Aセッション:本編終了後、30分~1時間程度)
- 開催形式: オンライン (Zoom)
- 参加費 : 無料
- 対象者 : WinActor初級者
※「超入門ステップアップ動画シリーズ」を視聴し、動画の通り問題なく操作できること
動画はこちら ⇒ <https://winactor.biz/rpa/forbeginners.html>
- 申込方法: WinActor公式サイト[のイベントページ](https://winactor.biz/event/2026/01/21_7046.html)からのお申込み
https://winactor.biz/event/2026/01/21_7046.html
- 内容
第3回では、アンケートやQ&Aが多かった「具体的なお困りごと」にフォーカスして解説します。
また、前回ご好評いただいた「スペシャルQ&Aセッション」も開催します。
(詳細なゴール・カリキュラムは次のページをご参照ください)

第3回のゴール

1. シナリオの複数の作り方について知識を整理する
2. 作り方の違いを知り、使い分けの考え方を知る

※初参加の方もご安心ください。これまでの内容を振り返りながら進行します。

※第3回目のご参加の方には、前回のQ&Aを深掘りしたコンテンツもご用意しています。

 **守：まず真似る**
破：違いを知る
離：判断の基準

本セミナーシリーズは毎回「初級者向けの基礎」を中心に進めます。
回を重ねることで「判断の視点(離)」が徐々に身につく構成です。

初級者向けに、考え方とポイントを中心に解説します

1. シナリオ設計の考え方
「どのシステム」の「どの場所」を「どう操作」するかを整理する
2. シナリオの作り方の代表例
「自動記録」と「部品の組み合わせ」
3. データを扱う基本パターン
Excelから1件ずつ or データを一括取り込み
4. 画面操作の考え方
画像マッチング、(キーボード)エミュレーション、UI識別の特徴・使い分け
5. Web操作のポイント(XPath)
Web画面を安定して操作するための考え方
6. エラー対処・安定運用のヒント
つまずいたときの確認ポイントと整理の工夫

事前アンケートをもとに、内容を調整する予定です。

参考資料

<参考> 全体像のイメージ

このページは、扱う話題の全体像をまとめた参考資料です。事前に確認いただく必要はありません。

1.シナリオ設計の考え方

- どのシステムの「どの部分を」「どう操作するか」を明確化
例)住所管理システムの住所欄にExcel A列の住所を入力する

2.シナリオの作り方

- まず自動記録で試す
- 部品(ノード/ライブラリ)をドラッグ&ドロップで組む

3.例題:システムの住所を最新化する

- 登録データ取得(Excelから1件ずつ or データ一覧で一括)
- システム側からの情報取得(変数に格納)

4.条件分岐(住所を比較し、違ったら更新する)

- 処理結果の保存(Excelに旧住所を追記する)

5.画面操作の3方式

- 画像マッチング
 - 簡単だが、環境変化に弱い(解像度、表示倍率、アイコン)
- エミュレーション
 - 汎用性が高いが、遅延・座標ズレに注意 → 待機設定が鍵
- UI識別
 - まずは自動記録を行ってみる
 - 取得できない画面もある(他の方式との併用が肝)

6.操作対象の特定方法

- 入力欄の位置が変わってしまう場合にどうするか?
- どの部品を使えばよいか
- お題:ポップアップウィンドウに対処しよう

7.XPath

- Web要素を住所(パス)で表すもの
- 省略形が複雑に見えるが、基本概念は変わらない

8.XPathの取得方法

- ブラウザ開発者ツール、自動記録モード、選択ボタン
- 要素が変わる場合
- XPathを変数化して可変にする

9.エラー対処(エラーメッセージ→環境チェック→切り分け)

- エラーメッセージを読んで順に対応する

10.安定運用・保守性

- 業務情報を記す(付箋をつける)
- 整理整頓(ノード名を付ける、グループ化する)

事前アンケートをもとに、内容を調整する予定です。